

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
高度管理医療機器 心臓・中心循環系用カテーテルガイドワイヤ 35094114

## SP ガイドワイヤー

### 再使用禁止

#### 【警告】

##### ＜使用方法＞

1. 本品の挿入及び抜去の操作は慎重に行うこと。

#### 【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止

##### ＜適用対象(患者)＞

1. 造影剤等、手技で併用される薬品等にアレルギー反応を示す患者には使用しないこと。[生命に関わる有害事象が発生する可能性がある。]

##### ＜併用医療機器＞

1. 本品を挿入、抜去する際、絶対に金属針や金属外套管等を使用しないこと。[ガイドワイヤ表面を著しく破損する恐れがある。]

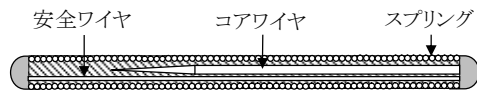
##### ＜使用方法＞

1. 本品はシェイピングを行わないこと。[先端部の破損の恐れがある。]
2. 本品の表面をアルコール、グルコン酸クロルヘキシジン水溶液等に浸けたり、これらを浸したガーゼ、脱脂綿等で拭かないこと。[表面の潤滑性を著しく低下させる原因になる場合がある。]

#### 【形状・構造及び原理等】

##### ＜形状＞

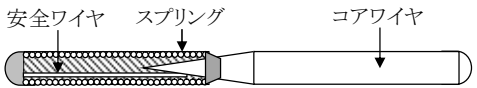
##### 固定型



##### 可動型



##### 二段型



※安全ワイヤが無く、コアワイヤとスプリング両端が固定されているものもある。

※表面コートはスプリング又はコアワイヤにコートされる。

※両端に形状がついているものもある。

##### ＜原材料＞

ステンレス鋼

ポリテトラフルオロエチレン

#### 【使用目的又は効果】

##### ＜使用目的＞

本品は、X線観察の為、患部に造影剤注入の手段で用いられるカテーテル、或いは、患部に適当な処置を施すことを目的として導入されるカテーテルの案内具である。

本品は未滅菌品であり、専ら滅菌品の製造に使用されるものである。

#### 【使用方法等】

- 1) 使用前に未滅菌のガイドワイヤをホルダーに入れた後、滅菌袋に包装しエチレンオキシドガス滅菌処理を行う。
- 2) ガイドワイヤをホルダーごと滅菌袋から取り出す。その際、ガイドワイヤ先端を折り曲げないように注意する。
- 3) シリンジを用いてフラッシュコネクターからホルダー内へ、ヘパリン加滅菌生理食塩液を注入する。\*ホルダー先端からヘパリン加滅菌生理食塩液があふれ出るまで注入すること。
- 4) ヘパリン加滅菌生理食塩液をホルダー内に満し、ガイドワイヤをホルダーから抜去する。ホルダーから抜去する際、抵抗が感じられたら、再度ホルダー内にヘパリン加滅菌生理食塩液を注入し、抵抗が感じられなくなったらホルダーから抜去する。
- 5) 使用するチューブ、カテーテル内には、前もってヘパリン加滅菌生理食塩液を満たしておく。
- 6) ガイドワイヤの先端よりチューブ、カテーテル内腔に挿入し使用する。

#### 【使用上の注意】

##### ＜重要な基本的注意＞

1. 使用前に先端(柔軟側)、後端を確認し、必ず先端から挿入すること。
2. 本品を鉗子等で強く掴まないこと。
3. 薬剤やデバイスを本品と併用する時は薬剤やデバイスの特性を十分理解し、ガイドワイヤを損傷させないこと。
4. 使用前に必ずエチレンオキシドガス滅菌処理を行うこと。

##### ＜不具合・有害事象＞

##### 1. 不具合

本品には以下のような不具合が生じる可能性がある。したがって、前述の使用上の注意に記載された事項を守った上で慎重に本品を使用すること。  
不具合の発生は、有害事象を引き起こす可能性がある。

##### (1) 重大な不具合

- ・ 折れ、曲がり
- ・ 破損
- ・ 断裂
- ・ コーティングの剥がれ など

##### 2. 有害事象

手技に伴い、以下のような有害事象が生じる可能性がある。有害事象が重篤な場合には重大な合併症を引き起こす可能性がある。

##### (1) 重大な有害事象

- ・ 急性心筋梗塞
- ・ (不安定)狭心症
- ・ 心室細動を含む不整脈
- ・ 血管の損傷(解離、穿孔、破裂、障害)
- ・ 感染症
- ・ 炎症
- ・ 抜去困難 など

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### ＜保管方法＞

保管の際には曲げたり重い物の下に置いたりせず、また水ぬれに注意し、高温、高湿、直射日光を避けること。

**\*【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】**

**\*\*製造販売者:**フィルメック株式会社

**\*\*住所:**愛知県名古屋市守山区脇田町 1703 番地

**\*\*電話番号:**052-768-1212